

貨

四年 筆順 11
カ イ 化 貨

成の立ち



「人がたおれる」という意味から、**変化**（カ）することと表した「化」（年 263）」と、「貝」（年 11）」とを組み合わせて作った字です。

むかしは、貝がお金の「かわり」に使われました。それで、「貝がお金に**変**わった」という意味で、変化の「化」と「貝」とで「お金」という意味を表したものです。「お金」という意味の字です。【例】貨幣、金貨。

また、お金で品物を買うことは、「お金が品物に**変**化する」ことですから、「お金で買う品物」のことをも、「貨」というようになりまし。【例】貨物、雑貨。

〔貝が金銭の意味をもった部首であるから、「貨」は「金銭の変化した品物」というのが本義であろうが、逆に説いた方がわかりよいと思う。〕

使い方

▽ぼくのおじいさんは、貨幣のコレクションを持っています。中には、とても貴重な金貨もあります。
▽ちりがみが少なくなったので、近くの雑貨屋さんに買いに行きました。

熟語例

▽貨幣（お金。紙幣（紙のお金）と、硬貨とがあります。「ちかごろでは、ずいぶん貨幣価値が下がった」などというふうにつかいます。）

▽金貨（金でできたお金。金を主な成分とする貨幣のことです。）

▽銅貨（銅でできたお金）

▽硬貨（金属でできたお金。「電話をかけるのに、十円硬貨がなくて、困った」などというふうにつかいます。）

▽貨物（お金で買う品物。また、運ばれて行く荷物のことを言います。「貨物列車に乗り込んだ」などというふうに、つかいます。）

▽雑貨（こまごまとした日用品）

課

四年 筆順 15
カ 言 訃 訃 課
ク ン

成の立ち



「ぐだもの」の形を表して、「果たす（やりとげる）」という意味を表した「果」（年 461）」と、「言う」という意味の「言」（年 121）」とを組み合わせた字です。

「果たすべき仕事を言いつける」ことを表した字で、「仕事を「わりあてる」という意味に使われます。【例】課税 課役。

「わりあてられた仕事」という意味にも使われます。【例】課題、課業、日課、課目。

また、「わりあてられた仕事のしゅるいによつてくぶんされた組織の名前」として使われます。【例】会計課、交通課、課長。

使い方

▽ぼくは、算数が苦手です。分数と小数について、もっとよく理解できるようにするのが、ぼくの課題です。
▽わたしの日課は、犬のジローを散歩につれて行くことです。散歩につれて行かないと、ジローは大声でほえるのです。ですから、どうしても、日課を果たさなければなりません。

熟語例

▽課題（与えられた問題や仕事。「日本の今後の課題は、経済大国として、いかに世界に貢献するか、ということである」などというふうにつかいます。）

▽課業（わりあてられた授業や仕事。「授業を果たしたので、ほっとして、遊びに出た」などというふうにつかいます。）

▽日課（自分で毎日すると決めた仕事。「おとうさんは、早朝のジョギングを日課にしています」などというふうにつかいます。）

▽課目（学校で習う授業の、個々の項目。「学校で習ういろいろな課目のうちで、音楽が一番好きです」などというふうに、つかいます。）